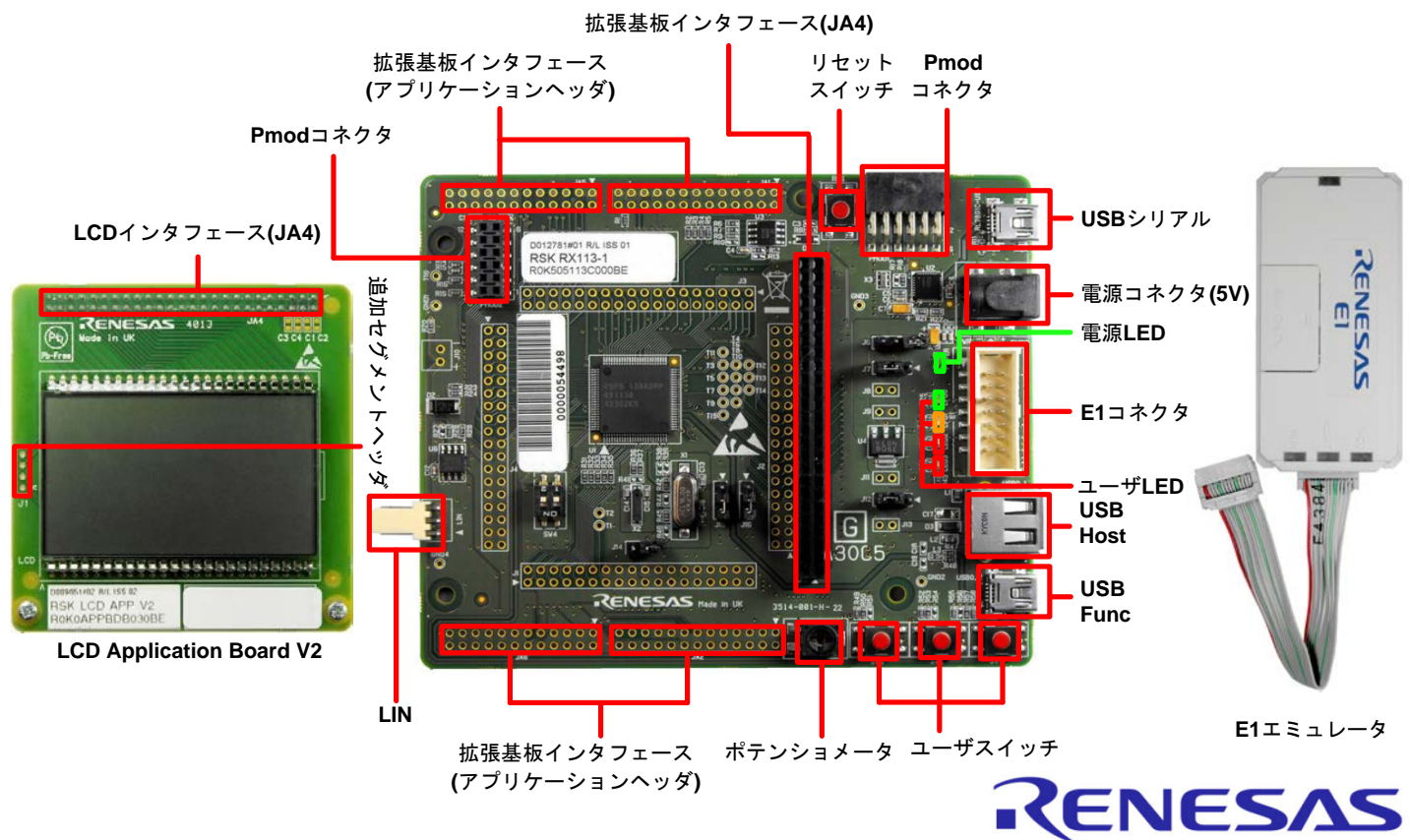


Quick Start Renesas Starter Kit for RX113



1. インストール

*** ソフトウェアのインストールが完了するまで、E1 エミュレータは接続しないでください。**

*** インストーラはインターネット接続環境を必要とします。**

1. 同梱のDVDを、ご使用のコンピュータのDVD-ROMドライブに挿入してください。インストールプログラムが自動的に起動します。インストールプログラムが自動的に起動しない場合は、DVDのルートフォルダから、“CsPlusLauncher.exe”をダブルクリックしてください。
2. ユーザーアカウント制御ダイアログが表示されたら、<続行>をクリックしてください。標準アカウントの場合、管理者アカウントのパスワードを入力して、<OK>をクリックしてください。
3. プレインストーラはCS+に必要なコンポーネントが存在し、インストールするかどうか最初にチェックします。必要な場合、インストールに数分かかります。
次にCS+インストーラのロックを解除します。画面の指示に従って指定のルネサスサイトへアクセスし、ロック解除用のコードを入手してください。
4. ロックが解除されると、CS+インストーラが起動し、ようこそ画面が表示されます。<次へ>をクリックします。
5. ソフトウェアの使用許諾契約が表示されます。内容を熟読し、“同意する”をチェックして、<次へ>をクリックします。
6. インストールコンポーネントの選択画面が表示されます。すべてのコンポーネントがチェックされていることを確認して、<次へ>をクリックします。
7. インストールコンポーネントとインストール先の情報が表示されます。<次へ>をクリックします。
8. インストール実行状況が表示されます。Driver インストール画面が表示されたら、Windows™セキュリティ画面の「Renesas Electronics Corporation」からのソフトウェアを常に信頼する」をチェックしてインストールを続行してください。<次へ>をクリックします。
9. インストールが完了したら、<次へ>をクリックします。
10. セットアップ完了が表示されます。アップデート・マネージャを起動のチェックを外してください。その後、<完了>をクリックしてインストールを終了します。アップデート・マネージャの実行はこのガイドを読み終えた後でも可能です。

2. 接続

11. LCD Application Board V2(拡張基板)を CPU ボードの JA4 に取り付けてください。コネクタの全てのピンがソケットに収まっていることを確認してください。
12. ここで、E1 エミュレータをユーザインタフェースケーブルにて CPU ボードの E1 コネクタに接続します。
13. E1 エミュレータをコンピュータの USB ポートに接続します。E1 エミュレータの“ACT” LED が点滅します。
14. “新しいハードウェアの検出”ウィザードが表示されますので、以下の手順に従って、ドライバをインストールしてください。
Windows™ Vista/7/8 の場合、管理者権限が必要となります。

Windows™ Vista / Windows™ 7

Windows™ 8

- a. インストールが完了すると、Windows™ ツールバーに完了通知されます。
 - a. インストールが完了すると、Windows™ ツールバーにアイコンが表示されます。
15. E1 エミュレータの“ACT” LED が点灯します。

3. CS+プロジェクト

CS+は、コンパイラ、アセンブラ、デバッガ、エディタ等の各種ツールを共通の GUI(グラフィカルユーザインタフェース)に統合します。CS+には使用方法を学習するためのヘルプが用意されています。メインウィンドウのヘルプ > チュートリアルで参照いただけます。

CS+マニュアル参照方法:

Windows™ 7 & Vista: スタートメニュー > すべてのプログラム > Renesas Electronics CS+ > Readme Documents

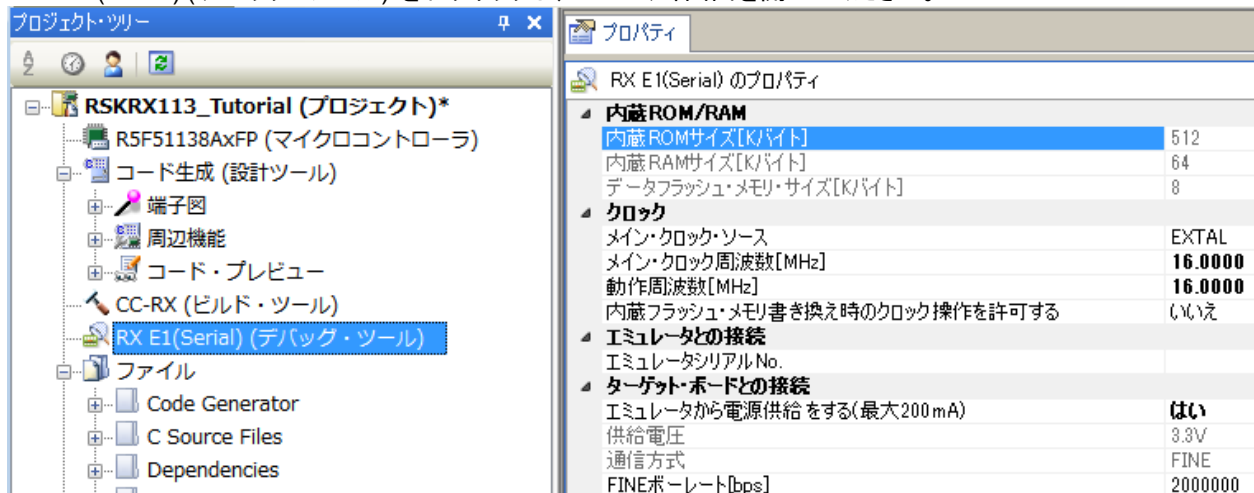
Windows™ 8: Ⓣをクリックして[アプリ]ビューを表示 > Renesas Electronics CS+

16. CS+起動方法は以下の通りです。
- Windows™ Vista/7: スタートメニュー > すべてのプログラム > Renesas Electronics CS+ > CS+ for CC (RX, RH850)
- Windows™ 8: Ⓣをクリックして[アプリ]ビューを表示 > “CS+ for CC (RX, RH850)”アイコン
17. “ワンポイントアドバイス”ダイアログが表示されます。
18. メインウィンドウにスタートパネルが表示されます。“RSK のサンプル・プロジェクトを開く”の RSKRX113_Tutorial を選択して、<GO>をクリックします。
19. “プロジェクト作成”ダイアログで、プロジェクト名を入力します。サブプロジェクトは未選択のままにしてください。
20. <作成>をクリックして、Tutorial プロジェクトを始めます。
21. CS+からプロジェクトフォルダを作成するか尋ねられた場合、<OK>をクリックしてください。



4. プログラミングとデバッグ

22. “RX E1 (Serial) (デバッグ・ツール)”を右クリックし、プロパティ画面を開いてください。



23. プロパティタブの“エミュレータから電源供給をする(最大 200mA)”を選択し、プルダウンリストから“はい”が選択されていることを確認してください。

24. メニューバーの<ビルド>ボタンをクリックしてビルドしてください。



25. <ダウンロード>ボタンからマイクロコントローラへプログラムをダウンロードしてください。



26. <リセット後実行>ボタンをクリックします。



27. コードが実行され、LCD パネルのセグメントに“TUTOR”が表示されます。

28. CPU ボード上の SW3 を押すと、A/D 変換結果を LCD パネルに表示します。

29. CPU ボードのポテンショメータを回転させて、再度 SW3 を押すと、新たな A/D 変換結果が表示されます。また、A/D 変換回数を、ユーザ LED (LED0-3) を使用してバイナリ表示で点灯させます。

30. <停止>ボタンをクリックします。



コードが停止し、現在のプログラムカウンタでソース・コードが開きます。

31. デバッグを終了する場合、<接続解除>ボタンをクリックします。

5. 次のステップ

クイックスタートでの作業終了後、本キットに同梱のチュートリアル・コードとサンプル・コードをご参照ください。別のプロジェクトをアクティブプロジェクトに変更することで、別のサンプル・コードを確認できます。これらのチュートリアルは、デバイスおよびコード開発に役立ちます。

本キットに同梱のマニュアルの記載内容は、マニュアル発行時のものですので、最新版については以下のルネサスウェブサイトをご確認ください: <http://japan.renesas.com/rskrx113>


6. Renesas RX コンパイラ

本キットに同梱のコンパイラは、使用日数の制限がございます。使用開始から 60 日間は全ての機能を使用できます。61 日目以降は、作成できるコードが 128k バイトに制限されます。コンパイラのフルバージョンのライセンスが必要な方はルネサスの特約店にご依頼ください。

7. マニュアル参照

ユーザマニュアル類は、以下で参照することができます。

Windows™ 7 & Vista: スタートメニュー > すべてのプログラム > Renesas Electronics CS+> Readme Documents > RSK > RSKRX113

Windows™ 8: をクリックして[アプリ]ビューを表示 > Renesas Electronics CS+

8. サポート

オンラインの技術サポート、情報等は、<http://japan.renesas.com/rskrx113> より入手可能です。

技術関連のご質問は、以下を通じてお願いいたします。

日本: csc@renesas.com

グローバルサイト: csc@renesas.com

© 2014 Renesas Electronics Europe Limited. All rights reserved.

© 2014 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.

© 2014 Renesas System Design Co., Ltd. All rights reserved.

WEB サイト: <http://japan.renesas.com>

D013154_11_S02_V0101